

新開発船型バルクキャリア“FRONTIER SPIRIT”引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：灘 信之）は10月6日（金）、有明事業所（熊本県玉名郡長洲町）において建造していた新開発船型バルクキャリア（N181BC）“FRONTIER SPIRIT（フロンティア スピリット）”を引渡しました。

本船はフランスのダンケルク港要求を満足する最大船型で、最新の省エネ技術を織り込み、当社が開発した環境性能に優れた N-181,000DWT Type Bulk Carrier の2番船です

【本船概要】

主要寸法	: 全長 Max. 292.0m x 幅 45.0 m x 深さ 24.55 m x 喫水 16.5 m
載貨重量	: 182,461 トン
総トン数	: 93,367
主機関	: MAN-B&W 7S60ME-C10.6-HPSCR ディーゼル機関1基
航海速力	: 14.4 ノット
定員	: 25 名
船級	: NK
船籍	: パナマ

【特長】

- ・ GHG (Greenhouse Gas) 排出規制である、EEDI (Energy Efficiency Design Index) に対しては 2025 年以降の契約船に適用される Phase3 レベルを先取りして満足しております。
- ・ 最新の解析技術による低抵抗・高効率を追求した最適船型を開発、併せて、弊社独自の省エネデバイスである Super Stream Duct[®]、SURF-BULB[®]、ALV-Fin[®]の最適化により、大幅な燃費削減を達成しています。
- ・ LEADGE-Bow[®]と呼ばれる船首形状、及び、新騒音規則にも配慮した低風圧居住区の採用により、実海域性能を向上させています。
- ・ 電子制御エンジン、低摩擦塗料、大直径プロペラの採用により、燃費性能を向上させています。
- ・ バラスト水処理装置の装備、有害物質一覧表の保持、NOx 排出規則 Tier III に適合するなど、様々な環境規制に対応しています。

弊社は今後も、経済性・環境性に優れた最新鋭のエコシップの開発・建造に努めてまいります。

